

幸せな呉市のために

～集積したものづくり技術，豊富な医療資源を基盤に
先端技術を生活や産業に取り入れ，幸せなまちを実現します～

令和 3 年 2 月
呉市長 新原芳明

目次

1. すみずみまで**行き渡る光回線**を活かして 1
2. **脱炭素社会**の実現に向けて 2
3. 観光客が繰り返し訪れる**ニーズ重視の受入れ** 2
4. **情報通信技術**による市民サービスの向上 3
5. **もっと子育てしやすいまち**へ 4
6. **日本最初のデータヘルス**を更に前進 5
(国民健康保険でのデータヘルスを後期高齢者へ拡充, 地域で支え合う地域共生社会の実現へ)
7. **呉駅周辺地域総合開発** 5
8. 快適で, **人にやさしいまち** 6
9. 豪雨災害からの**復旧・復興** 8
10. 日本製鉄(株)瀬戸内製鉄所呉地区の**休止発表**を受けて 9
11. 新型コロナウイルス**感染症対策**への対応 10

幸せな呉市のために

1. すみずみまで行き渡る光回線を活かして

○令和2年度予算により、令和3年度中には、呉市の人の住んでいるほとんどの場所に大容量の光回線が行き渡ります。

令和2年度 当初：下蒲刈（50百万円）、補正（第2号）：郷原地区（30百万円）、補正（第4号）：その他市内全域（607百万円）

○IoT、AI（人工知能）、ロボット、都市OSといった新技術を活用し、交通、健康、自然との共生、省エネルギー、安全・安心など地域の課題の解決に向けて、民間事業者からアイデアを公募し、情報通信技術を活かした市民生活の質の向上や産業の発展等を目指します。そのため、令和3年2月に呉市スマートシティ推進会議を設置します。

○今後、人流・交通・健康など公共や民間が持つ様々な領域のデータの蓄積・分析を可能とするデータプラットフォームの構築について検討を進めることにより、将来的には、呉駅周辺地域総合開発で設置するアーバンデザインセンターとも連携し、大量のデータを活かしたまちづくりを目指します。

令和3年度当初 データプラットフォーム構築調査、推進会議、ニーズの抽出、シーズの公募（10百万円、P22）
ICT活用教室の開催（3百万円、P22）

令和3年度当初 都市OSを念頭に置いて交通関連データの管理・活用を目指して（道路環境整備）（50百万円、P17）

令和2年3月に、呉市、広島大学、呉工業高等専門学校等で構成するKUREスマートシティコンソーシアムが、国のスマートシティモデルプロジェクトの一環として、国土交通省の委託によりスマートシティくれの推進についての調査を行っています。（今年度末に完了し、4月以降に調査結果が公表される見込み）
今回の呉市のスマートシティ推進会議やデータプラットフォームについての調査は、その成果見込みを踏まえたものです。

呉市は、国土交通省の3D都市モデル構築事業の対象都市（56都市）として選ばれました。
呉市から提供するデータを用いて、国土交通省は外部委託により地図情報や都市計画情報などのデータを重ねた3Dマップを作成し令和3年にオープン化します。
将来的には、呉市は民間事業者のノウハウを取り入れながら、まちづくりや防災分野での3Dマップの活用を目指します。

幸せな呉市のために

2. 脱炭素社会の実現に向けて

- 国は脱炭素化を進め、温室効果ガスの排出を実質ゼロとする目標を掲げています。
- 呉市の地理的要因、産業構造、日本製鉄(株)瀬戸内製鉄所呉地区の動向等を見据え、次世代エネルギーの利活用・普及促進等の基礎調査を行い、呉市が経済と環境の好循環を生み出すために取り組むべき方向性について研究を進めます。

令和3年度当初 脱炭素社会の実現を推進 (10百万円, P13)

3. 観光客が繰り返し訪れるニーズ重視の受入れ

- 呉にしかない価値を継承・創造し、観光を基幹産業へと発展させ、市民が誇りに思う幸せなまちを実現します。
- そのため、市民、呉市、産業界が一体となり、自立と継続を目指した観光推進体制を構築し、革新と成長を続ける「観光都市くれ」を目指します。

令和2年度 呉市観光推進計画策定委員会 (山田桂一郎座長) を開催

令和3年度当初 新たな観光推進体制の構築 (14百万円, P14)

- 観光庁の実証調査事業 (誘客多角化等のための魅力的な滞在コンテンツ造成) に、呉市の民間団体等の提案が採択され、新たな郷土料理の開発など観光資源の磨き上げに取り組んでいます。

令和2年度に実証調査事業として採択された提案 (観光庁の委託事業, 事業期間: 令和2年度, 交付額: 20百万円/件)

- ①安芸灘とびしま海道におけるEバイクや地域資源を活用した新たな滞在型コンテンツの造成 (未来へのとびしまレ構想協議会)
- ②サイクリングでお宝食材めぐり&アウトドアディナーを堪能する旅造成事業 (倉橋宿泊事業者協議会)
- ③日本遺産のストーリーに対応した呉海軍グルメと新たな地域観光事業の造成 (呉海軍グルメ研究会) ほか3件

- 安芸灘地域や音戸・倉橋において、地域団体が新規顧客やリピーターを獲得し、農泊事業として展開できるようにフォローアップします。

「農泊」とは、利用者が農山漁村地域に宿泊し、滞在中に地域資源を活用した食事や体験を楽しむ農山漁村滞在型の旅行
農泊事業に取り組む地域団体

(農林水産省の補助事業, 事業期間: 令和元年, 2年度, 交付上限額: 元年度 1,050万円/件, 2年度 650万円/件)

- ①未来へのとびしまレ構想協議会 (安芸灘), ②島まるごとユニバーシティ協議会 (音戸町), ③倉橋交流拠点構想推進協議会 (倉橋町)

令和3年度当初 農泊フォローアップ事業 (6百万円, P15)

4. 情報通信技術による市民サービスの向上

○リモート社会の実現に向けて、書面・押印等を不要として、申請・請求から本人確認、手数料の支払いまで一連の手続きが可能なシステムの導入を目指します。

子育て支援に関する手続きは、これらに先駆けて令和3年度からのWeb申請が可能となります。
⇒ 「5. もっと子育てしやすいまちへ」を参照。
令和3年度中に介護分野についてWeb申請の導入を目指します。

なお、令和2年度現在では、図書館の図書貸出予約、スポーツ施設等の利用予約など29項目の手続きについては、Web申請が可能となっています。

○令和3年度から行政窓口タブレット端末を置いて、ホームページの画像等を示しながら説明したり、市民センターと本庁をビデオ通話で繋ぎ、外国人の方への対応（通訳）など住民サービスの向上を図ります。（庁内に整備するWi-Fiを活用）

令和3年度当初 窓口業務におけるタブレット導入（50百万円，P22）

○庁内の一連の業務の精査、見直しを行って、既存のシステムを見直し、効率化を図り、市民サービスの充実につなげます。

令和3年度当初 庁内業務を効率的・効果的に進めるために（21百万円，P22）

5. もっと子育てしやすいまちへ

○令和3年度中に子育て支援に関する手続きがスマートフォンで行えるようにします。

令和3年度当初 子育て支援手続きWeb申請化（3百万円，P3）

令和2年度に導入した「スマートフォンで分かる手続きガイド」に加えて，児童手当，保育所，乳幼児等医療，放課後児童会の4分野はスマートフォンなどで簡単Web申し込みができます。→ 電話での問い合わせが不要，自宅等から申込み等が可能となります。

○くれ子育てねっとをリニューアルし，令和4年度からスマートフォン対応になります。

令和3年度当初 くれ子育てねっとのリニューアル（13百万円，P3）

新しい機能 ①子育て動画投稿，②子育て動画アワード → 子育て中のママ・パパの子育て動画や情報がアップでき，子育てサークルなどで盛り上げられます。

○不育症の検査・治療費への助成制度を創設します。不妊治療費助成については所得制限の撤廃や助成額の引上げなどを行います。

令和3年度当初 不妊治療・不育症治療費の充実（81百万円，P3）

幸せな呉市のために

6. 日本最初のデータヘルスを更に前進

(国民健康保険でのデータヘルスを後期高齢者へ拡充，地域で支え合う地域共生社会の実現へ)

○後期高齢者の特性を健診，医療，介護等のデータから分析して，リスクの高い方々を抽出し重症化予防を行うとともに，地域住民の方々に通いの場等でフレイル予防の普及啓発や健康教室，健康相談を行います。

令和3年度当初 高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施 (33百万円, P 5)

全国に先駆けて実施しており，令和3年度は市内全域 (8 圏域) に拡大します。

○国民健康保険加入者を対象に，かかりつけ医等と連携し，データヘルスによる生活習慣病の発症及び重症化予防を引き続き行います。

令和3年度当初 データヘルスによる重症化予防 (18百万円, P 5)

○認知症の方々が住み慣れた地域で幸せに暮らし続けることができるように，地域住民や老人クラブ，認知症カフェなど地域全体で支えます。

令和3年度当初 認知症対策の推進 (30百万円, P 5)

○令和3年度中に介護分野についてWeb申請の導入を目指します。(再掲)

7. 呉駅周辺地域総合開発

○令和3年度は，国のバスタプロジェクトと連携し開発事業者の選定を行います。

令和3年度当初 呉駅周辺地域総合開発の推進 (10百万円, P 16)

○令和4年度以降は，国直轄事業により，現在の駅前広場をバス待合施設や一般車送迎スペース等を備えた，より使いやすい交通広場へと再整備するとともに，そごう呉店跡地への商業・マンション・宿泊などの機能を有した複合施設の整備，JR呉駅の橋上駅化を目指します。

○今年度中に旧そごう呉店の建物等を活用し「呉駅周辺地域総合開発の見える化」を行います。

8. 快適で、人にやさしいまち

- JR安芸川尻駅のバリアフリー化（エレベーターの設置等）についての計画策定に着手します。（呉市移動円滑化基本構想の改定の中で、JR吉浦駅の事業の位置付けについても検討します。）

令和3年度当初 JR安芸川尻駅バリアフリー化の基本計画策定（12百万円，P17），呉市移動円滑化基本構想の改定（8百万円，P17）

- 呉中央棧橋ターミナルはバリアフリータラップの整備に着手し令和4年度の完成を目指します。

令和3年度当初 呉中央棧橋ターミナルのバリアフリー機能の整備（14百万円，P17）

- 呉ポートピアパークは、道の駅をはじめとした有効活用についての検討を開始します。

令和3年度当初 呉ポートピアパークの土地利用検討（6百万円，P19）

- 「^{と き め き}呉市土木未来プラン（実施計画は、令和3年度から5年間の計画）」を策定し、道路、橋梁、河川などの適正な維持管理やストックの有効活用などを行い、災害に強い安全・安心なまちづくりを進めます。

- 下蒲刈三之瀬の高潮対策についても、広島県の事業計画に位置付け次期整備期間中に事業着手するよう、強く要請しています。

8. 快適で、人にやさしいまち

○光回線の整備に伴い、安芸灘地域や音戸・倉橋などを含め、市内でのワーケーションやサテライトオフィスの誘致を目指します。

令和2年度3月補正 下蒲刈地区でワーケーション等の誘致のため、施設改修を予定しています。

(国の地方創生テレワーク交付金を活用)

令和3年度当初 「せとうち くれ ワーケーション」誘致 (5百万円, P13)

○県と一緒に、安芸灘地域を中心に開催されているスポーツイベントの地位を確立し、スポーツイベントを通じて地域の活性化を図ります。

令和3年度当初 呉・瀬戸内スポーツブランディング推進事業 (10百万円, P10)

○とびしま海道に訪れ、サイクリングを楽しむ観光客が安心して島を巡れるよう、インバウンドにも対応した多言語案内板を設置します。

令和3年度当初 インバウンドの推進 (8百万円, P14)

○安芸灘地域の子育て世帯や、観光客を対象とした安芸灘大橋の通行助成を引き続き行います。

令和3年度当初

子育て世帯を対象とした安芸灘大橋利用助成 (7百万円, P7), 観光客を対象とした安芸灘大橋利用助成 (17百万円, P14)

9. 豪雨災害からの復旧・復興

○川尻地区の市道森要垣内線を改良し歩行空間の確保と治水効果の向上を図ります。

令和3年度当初 市道森要垣内線改良事業（50百万円，P18）

○主要地方道呉平谷線（上二河～此原区間）は橋梁やトンネル工事を行うため，仮設道路の設置工事に入ります。

令和2年度補正（第6号） 主要地方道呉平谷線（県直轄事業負担金：18百万円）

○クリアライン4車線化は，令和3年度に呉市内の半分以上の区間（約4km）で工事発注が予定されています。先小倉交差点（国道185号）の立体交差は令和3年度中に供用開始となります。

広島呉道路（クリアライン） 呉市区間：7.5キロ（天応～呉） 発注区間：呉トンネル工事（約3.5キロ），天応工事（約0.5キロ）

令和3年度当初 広島呉道路（クリアライン）の4車線化による呉ICへのアクセス道路整備（8百万円，P18）総事業費5.1億円

○天応地区の西条第2公園（仮称）や呉駅周辺地域総合開発で整備する施設内に災害の教訓を伝える防災教育の場としての整備を検討しています。安浦地区のいなし広場は，一時避難場所などの活用を検討しています。

10. 日本製鉄(株)瀬戸内製鉄所呉地区の休止発表を受けて

- 新ビジネスや販路拡大等にチャレンジする中小企業者等に対する支援を進化させます。
(日本製鉄(株)との影響度に応じた加算制度もあります。)

令和2年度補正(第2号, 第6号)

ビジネスモデル転換支援事業補助金 964百万円

採択: 195件, 補助金申請額: 1,024百万円 (うち日本製鉄(株)と直接取引のある事業者: 63件, 413百万円)

全体投資見込み額は55億円(採択時点)



令和3年度当初

中小企業等事業再構築促進事業の追加支援(150百万円, P13)

呉市独自の上乘せ支援 ①通常分: 事業者負担の1/10, ②日鉄加算: 影響度に応じて上限100万円~上限300万円

(例) 事業費90百万円, 国庫補助60百万円(2/3), 事業者30百万円(1/3), 通常分3百万円, 日鉄加算3百万円 ← 追加支援

追加支援分(1.5億円)に係る全体投資見込み額は36億円程度(試算)

- やむを得ず転職される方々を対象に呉市とハローワークで合同企業説明会を2月に行います。
令和3年度には、呉市が市内企業と転職希望者のマッチング事業を行います。

呉地区製鉄業関係従業員等を対象とした合同企業説明・相談会(呉市, 労働局, ハローワーク)

令和3年2月13日(土), 14日(日) 呉市役所7階

内航船員就職セミナーin呉(中国運輸局, 中国地区内航船員対策協議会, (一財)中国旅客協会, 呉市等)

令和3年2月28日(日) 新日本造機ホール

令和3年度当初 日鉄関係雇用マッチング事業(1百万円, P13)

- 中小企業庁が呉市で中小企業者等に対して、新しい挑戦に向けた支援についての説明会を行う予定です。

11. 新型コロナウイルス感染症対策への対応

○市民の命と暮らしを守るため、PCR検査の実施や小規模企業者応援給付金などの感染症対策に取り組んでいます。

令和3年度当初 359百万円（国・県：117百万円，一般財源：242百万円等）
PCR検査体制の確保（32百万円，P25），乳幼児健診・就学時健診等の安全確保（21百万円，P25），コールセンターの設置（11百万円，P25），学校生活適応支援員の派遣（18百万円，P25），障害福祉・介護サービス継続支援事業（26百万円，P26）など

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対策（補正第8号まで）
予算総額：305億円（国・県：251億円，地方創生臨時交付金：33億円，市債：7億円，一般財源：15億円等）

令和2年度の呉市独自の主な取り組み

- （補正2号）子育て世帯への応援給付金（1万円/人），ひとり親世帯への応援給付金（5万円/世帯），小規模企業者応援給付金（10万円/者），社労士等への依頼費用助成 等
- （補正4号）新生児応援給付金（10万円/人），新型コロナウイルス感染症対策取組事業者支援給付金（飲食業等：5万円/店舗，宿泊事業者：2万円/客室定員数，交通事業者：5万円/台（タクシー），15万円/台（バス）），行政書士の無料相談窓口等
- （補正5号）くれまち店舗応援プロジェクト（30%プレミアム付き商品券），市内ネットワーク無線環境整備 等

主な実績（令和3年1月26日現在）

セーフティネット保証4，5号及び危機関連保証	認定件数：2,252件
小規模企業者応援給付金	振込件数：4,814件
新型コロナウイルス感染症対策取組事業者支援給付金	振込店舗数：2,862件
補助金申請サポート事業（社会保険労務士，行政書士）	交付決定件数：1,121件（社会保険労務士：244件，行政書士：877件）
行政書士による無料相談（市役所1階）	相談件数：1,248件

○ワクチン接種は，4月より高齢者（65歳以上）の方から順次開始する予定です。

令和2年度補正（第8号） 新型コロナウイルスワクチン接種事業（1,328百万円）

広島県：2月～ 医療従事者，呉市：4月～ 高齢者（65歳以上），基礎疾患のある方，それ以外の方

○新型コロナにより，今まさにお困りになっている方々への支援を検討します。（3月補正）

○4月以降も，市民や飲食店をはじめとした事業者の方のお声を丁寧に聞き，呉市として機を逃さず責任をもって対応していきます。